

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0857
施設名	グリーンバレー等々力保育園
施設所在地	東京都世田谷区等々力2--33-14
法人名	社会福祉法人ちとせ交友会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

色々な身体の使い方を覚えよう

<テーマの設定理由>

元々身体を動かすのが好きな子が多いクラスだった。進級してすぐにマットで動物歩きに挑戦したところ、ほとんどの子が自分の身体を支えられないことに気づいたので、遊びを通して心身の発達に繋がった。

2. 活動スケジュール

6月～：室内用の鉄棒を購入し、ぶら下がることから始めた。最初は10秒以内に手を離してしまう子が半数を超えていたが、週に1回程度運動遊びを行ったことで8月頃からぶら下がりタイムの記録が伸びていった。

9月～：鉄棒で「ツバメ」や「豚の丸焼き」などの自分の身体を支える技に挑戦し、出来るようになっていった。

12月～：発表会の演目に運動遊びを取り入れ、保護者に春からの成長を見てもらうことで自信に繋がった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

平均台、トンネル、室内用滑り台、バランスストーン、マット、リング、ハードル、机、マット型ランポリンなどを活動内容に合わせて用意した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

もともと身体を動かすことが好きな子が多いクラスだったので、運動遊びを取り入れるようになってからは子ども達から「今日はサーキットやりたい!」とリクエストが増えた。また、鉄棒ぶら下がりタイムを測り始めてからは「前より長くぶら下がれた!」と成長を喜ぶ姿が見られた。体力や体の発達に個人差があったので、楽しく参加できることを最優先に指導した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

もともと身体を動かすことが好きな子が多いクラスだったので、運動遊びを取り入れるようになってからは子ども達から「今日はサーキットやりたい!」とリクエストが増えた。また、鉄棒ぶら下がりタイムを測り始めてからは「前より長くぶら下がれた!」と成長を喜ぶ姿が見られた。体力や体の発達に個人差があったので、楽しく参加できることを最優先に指導した。友達が挑戦している姿からも刺激を受け、自ら積極的に取り組んでいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

運動遊びを積極的に取り入れるようになってから、戸外活動で公園に出かけた時も遊具で遊ぶ姿が多く見られるようになった。少し難易度が高い遊具に挑戦することも増え、途中で怖くなってしまいうことがあっても、「先生下ろして」ではなく、「先生どうすればいい?手伝って」と挑戦しようとする気持ちが見えることが多かった。また、数回援助して経験を重ねることで、一人でできるようになり、自信に繋がっていた。経験が自信に繋がり、その後も前向きに挑戦することで成長していく姿を見ることができた。